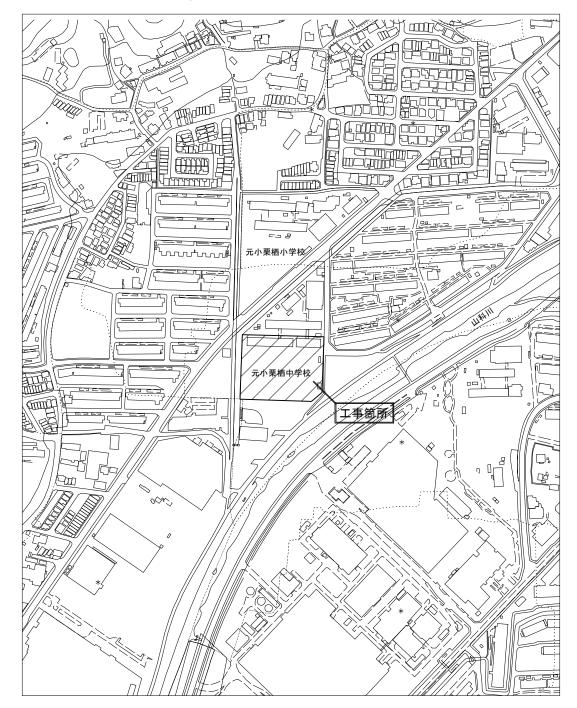
位 置 図 S=1:2500

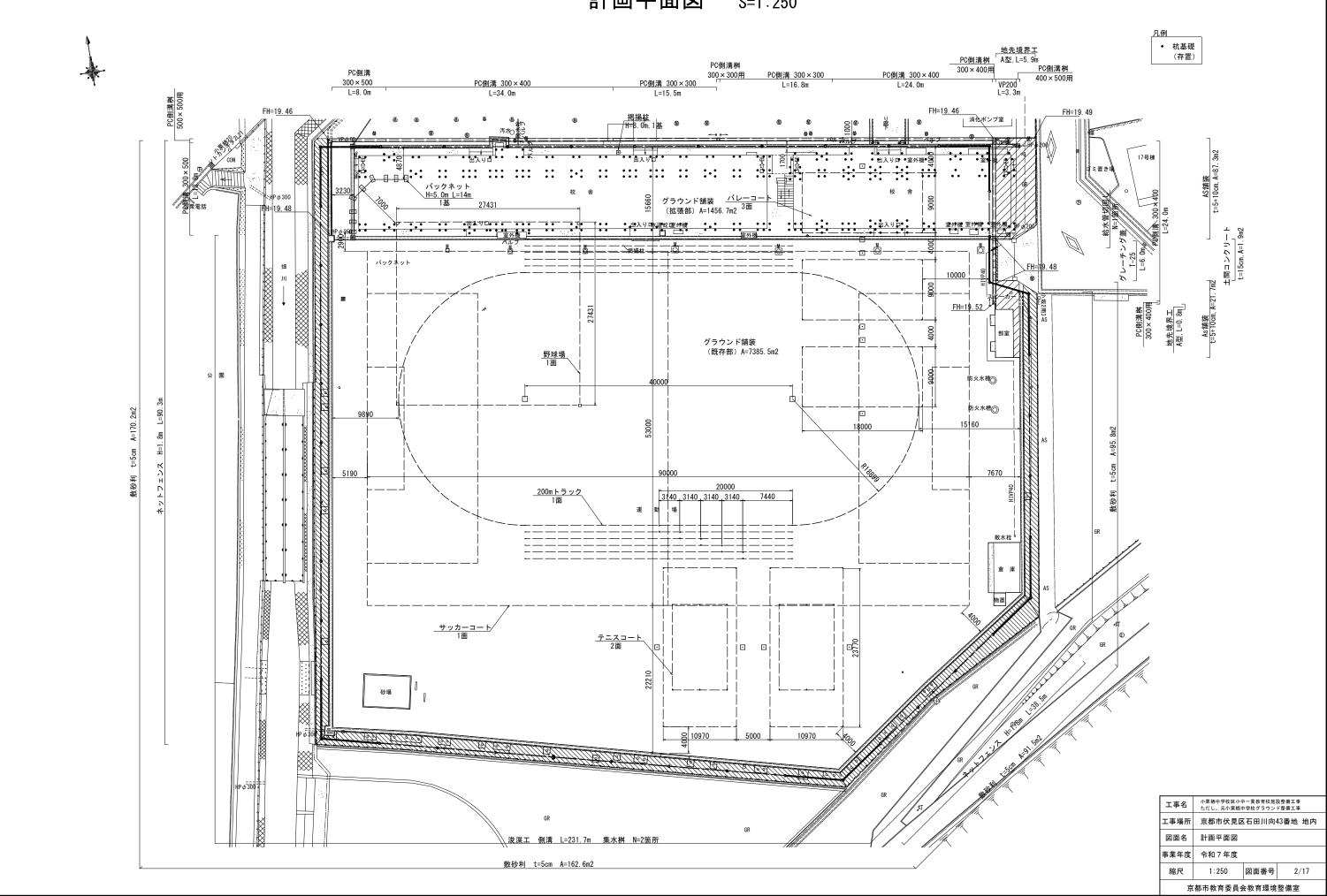


目 次

図面番号	図名	縮尺	枚数
1	位置図・目次	1:2500	1
2	計画平面図	1:250	1
3	造成計画平面図	1:250	1
4	防球ネット工計画平面図	1:250	1
5	側溝展開図	図示	1
6	雨水排水設備工構造図	1:20	1
7	園路広場整備工構造図	図示	1
8~13	グラウンド・コート整備工構造図(1)~(6)	図示	6
14	撤去平面図	1:250	1
15	撤去詳細図	図示	1
16	樹木調査図	1:200	1
17	土工平面図	1:250	1
		計	17

工事名	小栗栖中学校区小 ただし、元小栗栖			
工事場所	京都市伏見区	区石田川向	43番地 地内	
図面名	位置図,目次			
事業年度	令和7年度			
縮尺	1:2500	図面番号	1/17	
京都市教育委員会教育環境整備室				

計画平面図 S=1:250



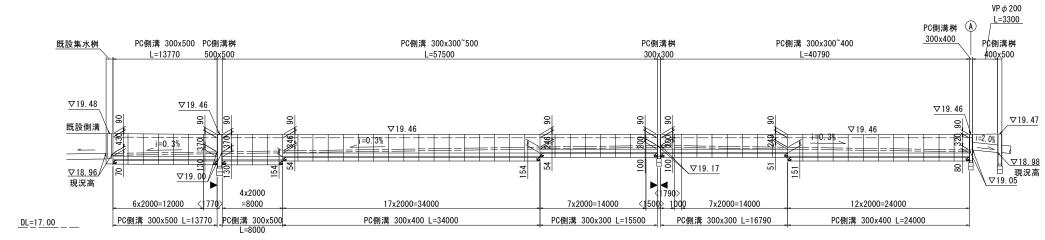
造成計画平面図 S=1:250 FH=19.46 FH=19. 46 FH=19. 49 FH=19.50 FH=19. 48 室外機 9. 51 19.537 19.537 19.52 5. よブ 19.60 回 9.51 19. 48 19.537 NO. 5 19. 49 19. 54 19. 538m 19. 537 19.51 月9.537 日 19.49 19.537 19.552 FH=19. 55 19.552 ₅₈ FH=19. 60 i=0. 5% 公 園 防火水槽①19.5 ₆₃FH=19. 65 19.61 19. 19.573 防火水槽 ③19.54 19. 652 FH=19. 706 FH=19.715 FH=19.70 19. 702 19. 702 FH=19. 70 動場 FH=19. 65 .<u>..</u>/ 19.617 19.626 FH=19. 60 FH=19. 55 19. 53 19. 491 19. 47 凡例 19.56 現況地盤高 19.635 計画地盤高 小栗栖中学校区小中一貫教育校施設整備工事 ただし、元小栗栖中学校グラウンド整備工事 工事名 京都市伏見区石田川向43番地 地内 造成計画平面図 図面名 事業年度 令和7年度 1:250 図面番号 3/17 京都市教育委員会教育環境整備室

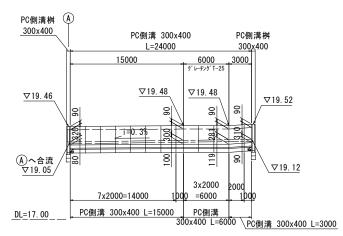
防球ネット工計画平面図 S=1:250 杭基礎 (存置) 防球ネットエ(H=10m) L=100,00m 下部2.5m ロープ開閉式 L=9.0m 地際ネット L=38.0m 地際ネット L=36.0m 下部2.5m 下部4.5m ロープ開閉式 L=7.5m ロープ開閉式 L=9.5m 9500 7500 FH=19.46 FH=19.46 FH=19. 49 ・バックネット 公 園 防火水槽① 19.5 防球ネットH10m(支柱間隔最大9.5m) 防火水槽 ① 19.54 下部2.5mカーテン ①-②間、⑥-⑦間 下部4.5mカーテン ①-②間、⑭-⑤間 地際ネット 上記以外 防護マット 小栗栖中学校区小中一貫教育校施設整備工事 ただし、元小栗栖中学校グラウンド整備工事 工事名 京都市伏見区石田川向43番地 地内 防球ネットエ計画平面図 図面名 事業年度 令和7年度 地際ネット L=78.21m 1:250 図面番号 4/17

京都市教育委員会教育環境整備室

防球ネットエ(H=10m)

側溝展開図 V=1:50, H=1:250





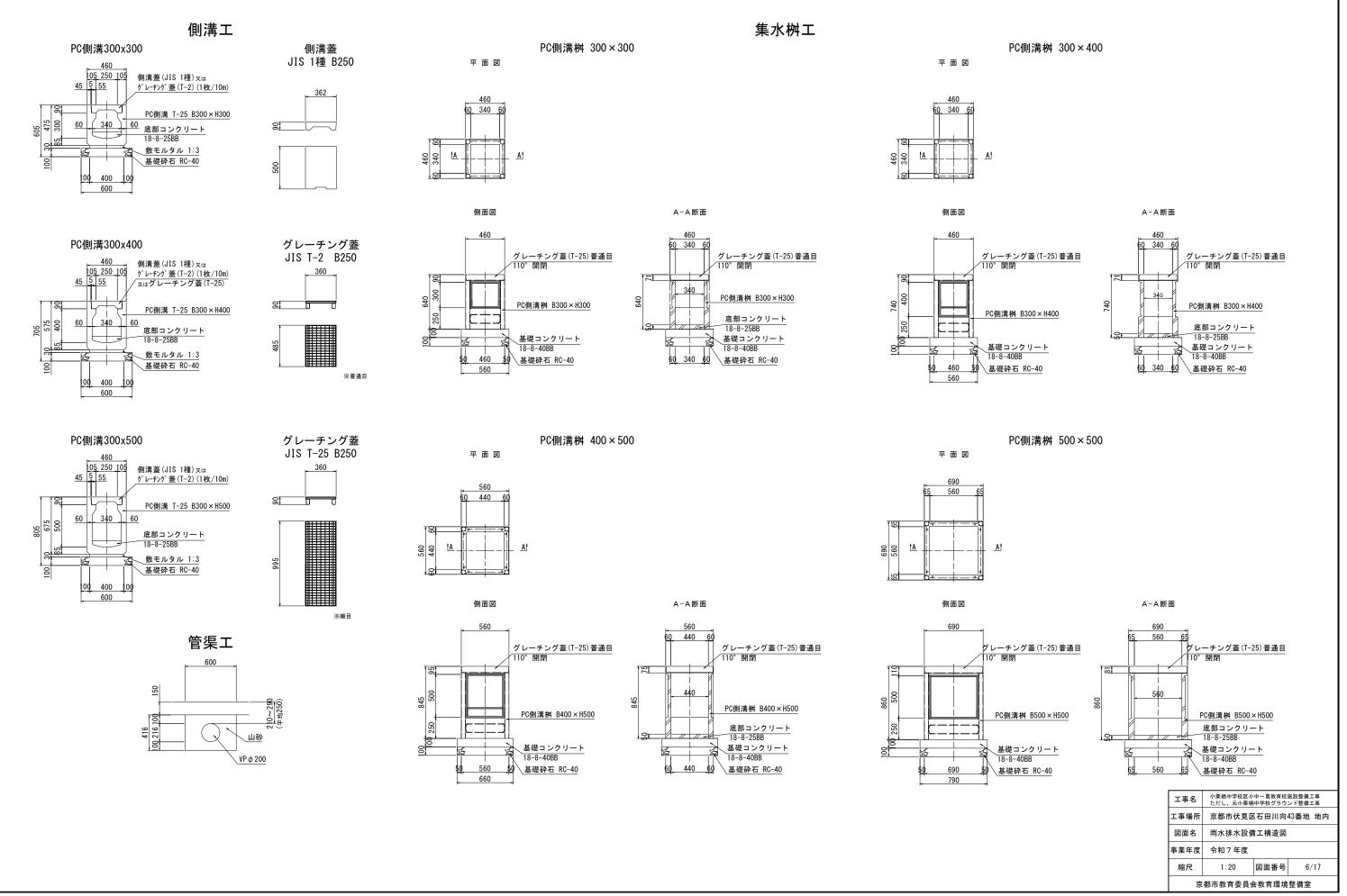
PC側溝 数量表				(1式	当り)
名 称	:	規格		延	長
				(m)
PC側溝	T-25	300×	300	32	. 290
	T-25	300×	400	82	. 000
	T-25	300×	500	21	. 770
	計			13	6.06

- ※ 側溝延長は、側溝中心線上の距離を示す。 ※ 展開図の 印は、現場カット加工面を示す。 ※ 展開図の側溝延長寸法の< >値は、現場カット加工長を示す。

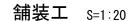
PC側溝桝 数	量表	(1式当り)
名 称	規格	個数(基)
PC側溝桝	T-25 300 × 300	1
	T-25 300 × 400	2
	T-25 400 × 500	1
	T-25 500 × 500	1
	計	5

工事名	小栗栖中学校区小 ただし、元小栗栖				
工事場所	京都市伏見区石田川向43番地 地内				
図面名	側溝展開図				
事業年度	令和7年度				
縮尺	図示	図面番号	5/17		
京	京都市教育委員会教育環境整備室				

雨水排水設備工構造図 S=1:20



園路広場整備工構造図



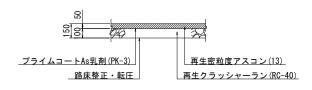
園路縁石工 S=1:20

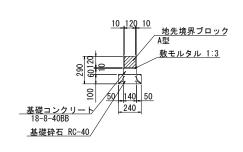
給水設備工 S=1:100

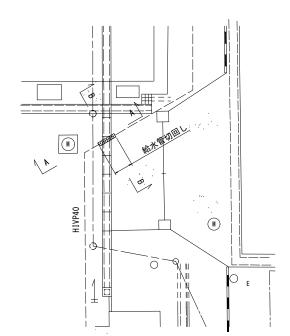
As舗装

地先境界工(A型)

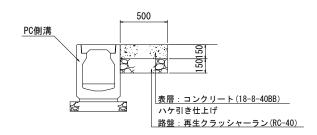
給水管切回し







土間コンクリート

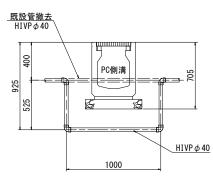


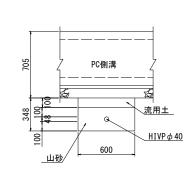










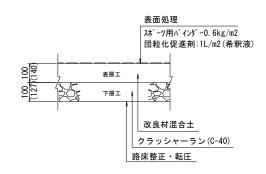


工事名	小栗栖中学校区小中 ただし、元小栗栖中			
工事場所	京都市伏見区	石田川向	43番地 地内	
図面名	園路広場整備工構造図			
事業年度	令和7年度			
縮尺	図示	図面番号	7/17	
京都市教育委員会教育環境整備室				

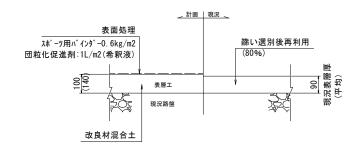
グラウンド・コート整備工構造図(1)

グラウンド舗装工 S=1:10

<グラウンド拡張部>



<既存グラウンド部>



※表層工は、篩い選別した現地土および購入真砂土と、 改良材(エコクレイTS同等品以上) を混合したものとし、 透水・保水性に優れ、団粒構造を形成したものとする。

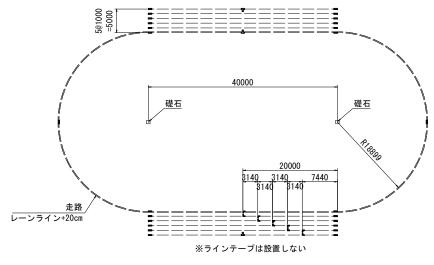
> 現地土 + 購入土 : 改良材 7 : 3

※団粒化促進剤(TSバインダー同等品以上)は、 原液0.02L/m2 を50倍程度に希釈し散布する。

※()寸法は転圧前の寸法とする。

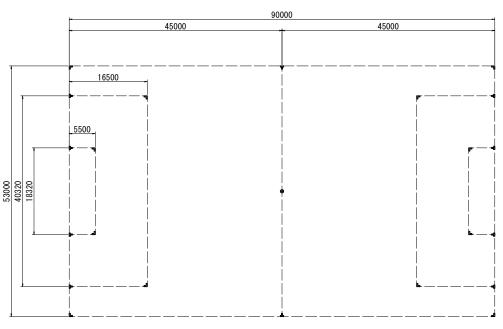
舗装材割増率 表層工 40% 下層工 27%

陸上トラック平面図 S=1:400



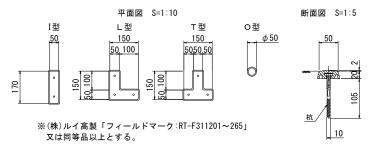
材料表		1面当り
名 称	単位	数 量
Ι型	個	26
L型	個	10
T型	個	3
礎石	個	2
ラインテープ	m	-

サッカーコート平面図 S=1:400

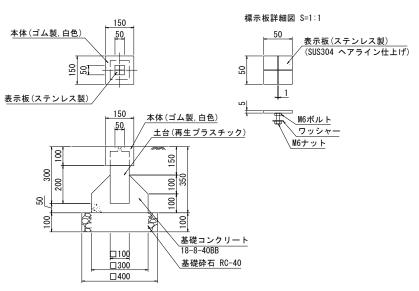


1面当り 材料表 単位 数 量 名 称 Ι型 個 ᆫ型 個 12 T型 個 10 O型 個 ラインテープ m

標示ブロック



礎石工 S=1:10



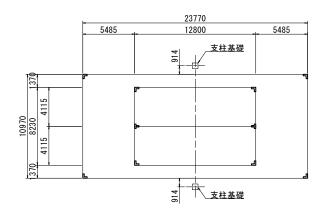
※(株)ルイ高製「礎石:RT-T110250」又は 同等品以上とする。

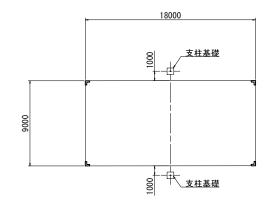
工事名	小栗栖中学校区小中一貫教育校施設整備工事 ただし、元小栗栖中学校グラウンド整備工事				
工事場所	京都市伏見区石田川向43番地 地内				
図面名	グラウンド・コート整備工構造図(1)				
事業年度	令和7年度				
縮尺	図示	図面番号	8/17		
÷	克 都市教育委員会教育 语整備室				

グラウンド・コート整備工構造図(2)

テニスコート平面図 S=1:200

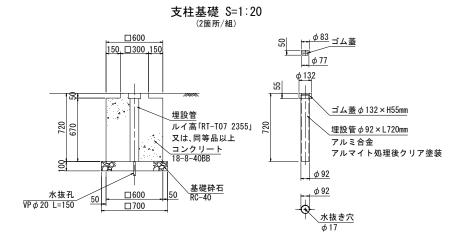
バレーコート平面図 S=1:200

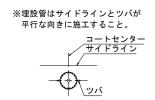




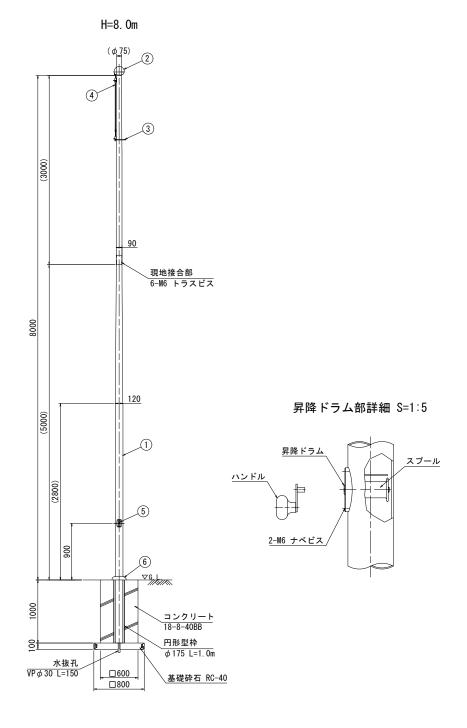
材料	表			1面当り
	名	称	単位	数 量
I型			個	-
L型			個	8
T型			個	2
支柱基	き礎		組	1

1面当り
数 量
-
4
0
1
0





掲揚ポールエ S=1:30



※(株)ルイ高製「フラッグポール(ハンドル式·埋込型:RT-E151308」又は同等品以上とする。 ※安全上、風速15m/sec以上での旗の使用は避けること。

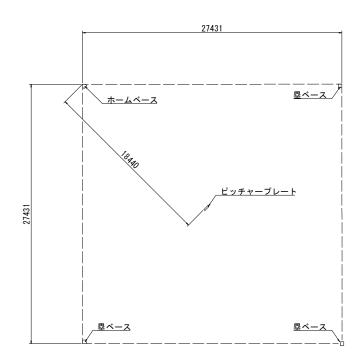
No.	名 称	個数	材質・寸法	仕上・備考
1	ポール	1	アルミ合金(JIS H4100 A6063TE-T6)	HL、アクリル樹脂クリア塗装
2	キャップ	1	アルミ合金 (ADC5/A1100-0)	
3	ガイドリング	1	ステンレス製(SUS304)	
4	スライド金具	1	ステンレス製(SUS304)	
5	昇降ドラム	1	アルミ合金(ADC6)	
6	グランドカバー	1	アルミ合金(A5052P)	

重量:31kg(8m柱)

工事名	小栗栖中学校区小中一貫教育校施設整備工事 ただし、元小栗栖中学校グラウンド整備工事			
工事場所	京都市伏見区石田川向43番地 地内			
図面名	グラウンド・	コート整備	備工構造図(2)	
事業年度	令和7年度			
縮尺	図示	図面番号	9/17	
京都市教育委員会教育環境整備室				

グラウンド・コート整備工構造図(3)

野球場平面図 S=1:200



材料表			1面当り
名 称	単位	数 量	備考
ホームベース	個	1	受金具共
ピッチャープレート	個	1	受金具共
塁ベース(3個/式)	式	1	上下金具共

※ ベース上面が、GL面と同一位置になるよう設置すること。※ ホームベースは、(株)ルイ高 RT-B052141 と同等品以上とすること。※ ホームベース受金具は、(株)ルイ高 RT-B052136 と同等品以上とすること。

塁ベース

塁ベース

上下金具

ホームベース 受金具 442 262 ホームベース本体 ホームベース プラ台 Lアングル 40×40×t3 FB32 × t3 ホームベース A部詳細 設置図 18 1/2ポルト ∇G. L. _ 50 1/2ナット(2種)

ホームベース

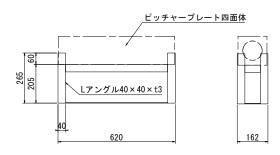
ピッチャープレート

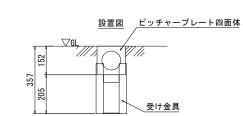
ピッチャープレート四面体



受金具







- ※ プレート上面が、GL面と同一位置になるよう設置すること。
- ピッチャーブレートは、(株)ルイ高 RT-B052128 と同等品以上とすること。ピッチャーブレート受金具は、(株)ルイ高 RT-B052129 と同等品以上とすること。

S=1:10	S=1:10	
表面 皮シボ状に成形	上金具	下金具
布目依仁成形	255 200 © 00 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	200
<u>裏面</u> 4-1/2ナットをインサート	25	30 8
200	設置例 型ベース VG. L 上金具 下金具	未使用時ゴム蓋 135 02 05

- ※ ベースは、(株)ルイ高 RT-B052130 と同等品以上とすること。※ 上下金具は、(株)ルイ高 RT-B052240 と同等品以上とすること。

工事名	小栗栖中学校区小中一貫教育校施設整備工事 ただし、元小栗栖中学校グラウンド整備工事		
工事場所	京都市伏見区石田川向43番地 地内		
図面名	グラウンド・コート整備工構造図(3)		
事業年度	令和7年度		
縮尺	図示	図面番号	10/17
京都市教育委員会教育環境整備室			

グラウンド・コート整備工構造図(4)

バックネット H=5.0m, L=14m

完全式菱形金網φ2.6×40mm [スプリングネット] [400g亜鉛めっきハガネ鉄線] (素線抗張力850N/mm2 ~1050N/mm2) (亜鉛付着量400g/m2 以上)

全柱控付 φ60.5×2.3

FB50 × 6

BN M12

FB25 × 6

1000

1100

B部取付図 S=1:5

円形型枠

コンクリート 18-8-40BB

50 基礎砕石RC-40

立面図 S=1:30

2000 ϕ 38. 1 × 1. 6

> ϕ^{\times} 38.1×1.6 (水抜穴付)

 ϕ 38. 1 × 1. 6

 ϕ 4. 0

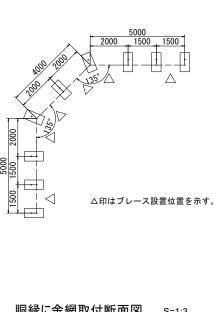
φ38.1×1.6 (水抜穴付)

(引付金具付) [2スパン毎] (個し、端末及びコーナー 両側メバンには必ず設け るものとする。

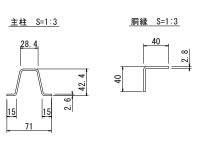
GL+0m

平面図 S=1:100



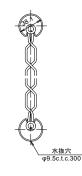


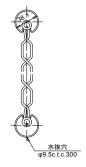
2000 爪ピッチ200 ひし形金網 (ø3.2X50mm)



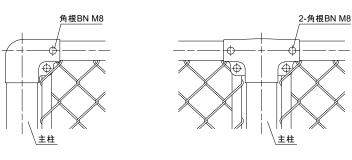
(株)ニッケンフェンス&メタル製「KAB-180(塗装タイプ)」又は同等品以上とする。 主柱、胴縁:SS400 粉体塗装(ポリエステル樹脂系塗装) 金網 : 着色塗装亜鉛めっき鉄線(3種めっきJIS G3542)

胴縁に金網取付断面図 S=1:3



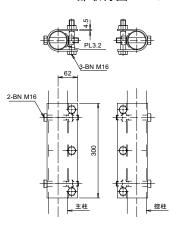


A部取付図 S=1:5



引抜け防止 BN M8

C部取付図 S=1:6



設計条件

設計余件 設計荷重・・・建築基準法・同施行令(平成12年6月)に基づく風圧力に依る。 基準風速・・・32m/sec 地表面粗度区分・・・Ⅲ 基礎条件・・・長期許容地耐力 100kN/m2

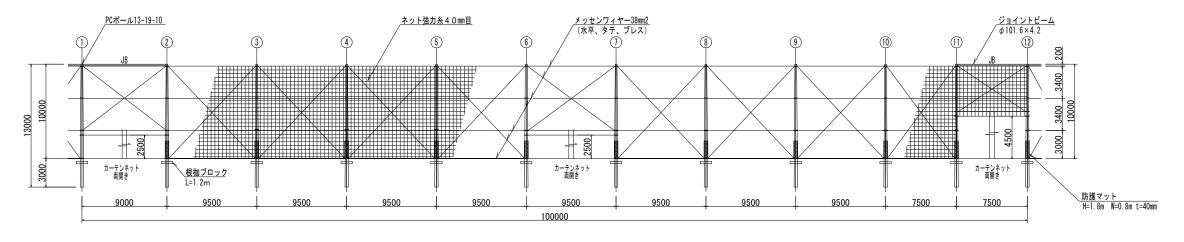
650

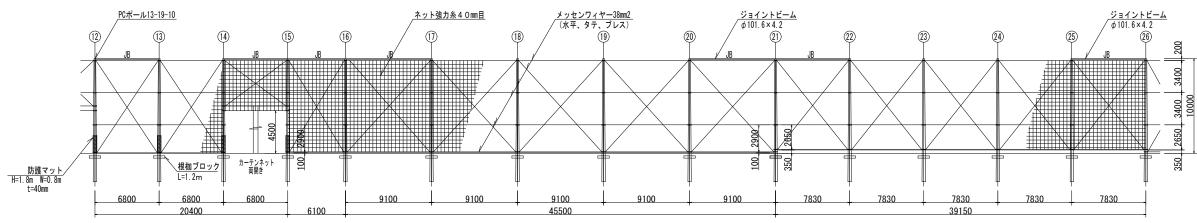
- ^{用 行} 1. 外装は金網類を除く他は溶融亜鉛めっきとする。 2. 朝日スチール工業(株)製「PC-S5000+1000」又は同等品以上とする。

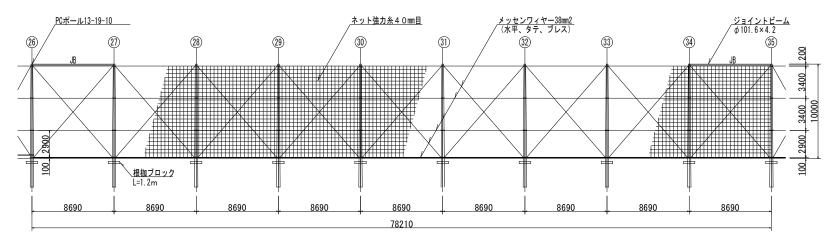
工事名	小栗栖中学校区小中一貫教育校施設整備工事 ただし、元小栗栖中学校グラウンド整備工事		
工事場所	京都市伏見区石田川向43番地 地内		
図面名	グラウンド・コート整備工構造図(4)		
事業年度	令和7年度		
縮尺	図示	図面番号	11/17
豆	克都市教育委員会教育環境整備室		

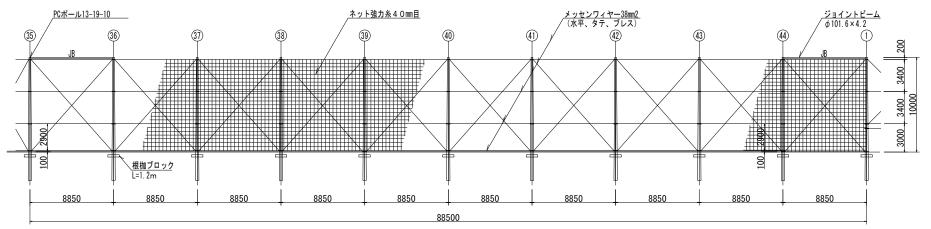
グラウンド・コート整備工構造図(5)

防球ネット展開図 S=1:200





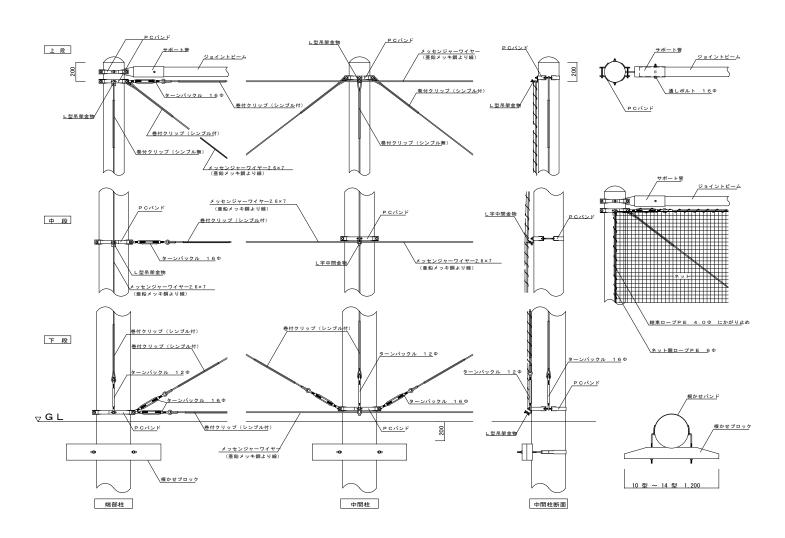




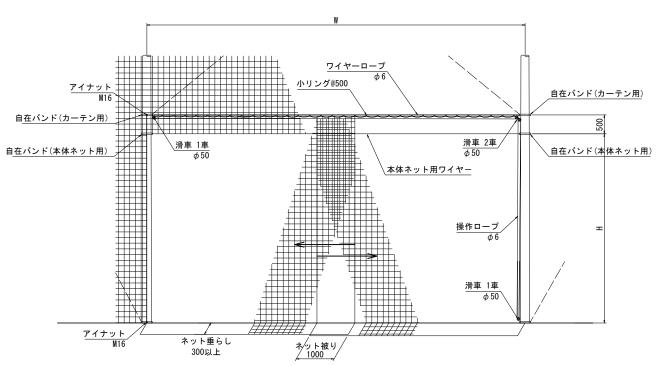
工事名	小栗栖中学校区小 ただし、元小栗栖		
工事場所	京都市伏見区	石田川向	43番地 地内
図面名	グラウンド・	コート整	備工構造図(5)
事業年度	令和7年度		
縮尺	1:200	図面番号	12/17
京都市教育委員会教育環境整備室			整備室

グラウンド・コート整備工構造図(6) 防球ネット詳細図

装柱金具図 S=NoScale



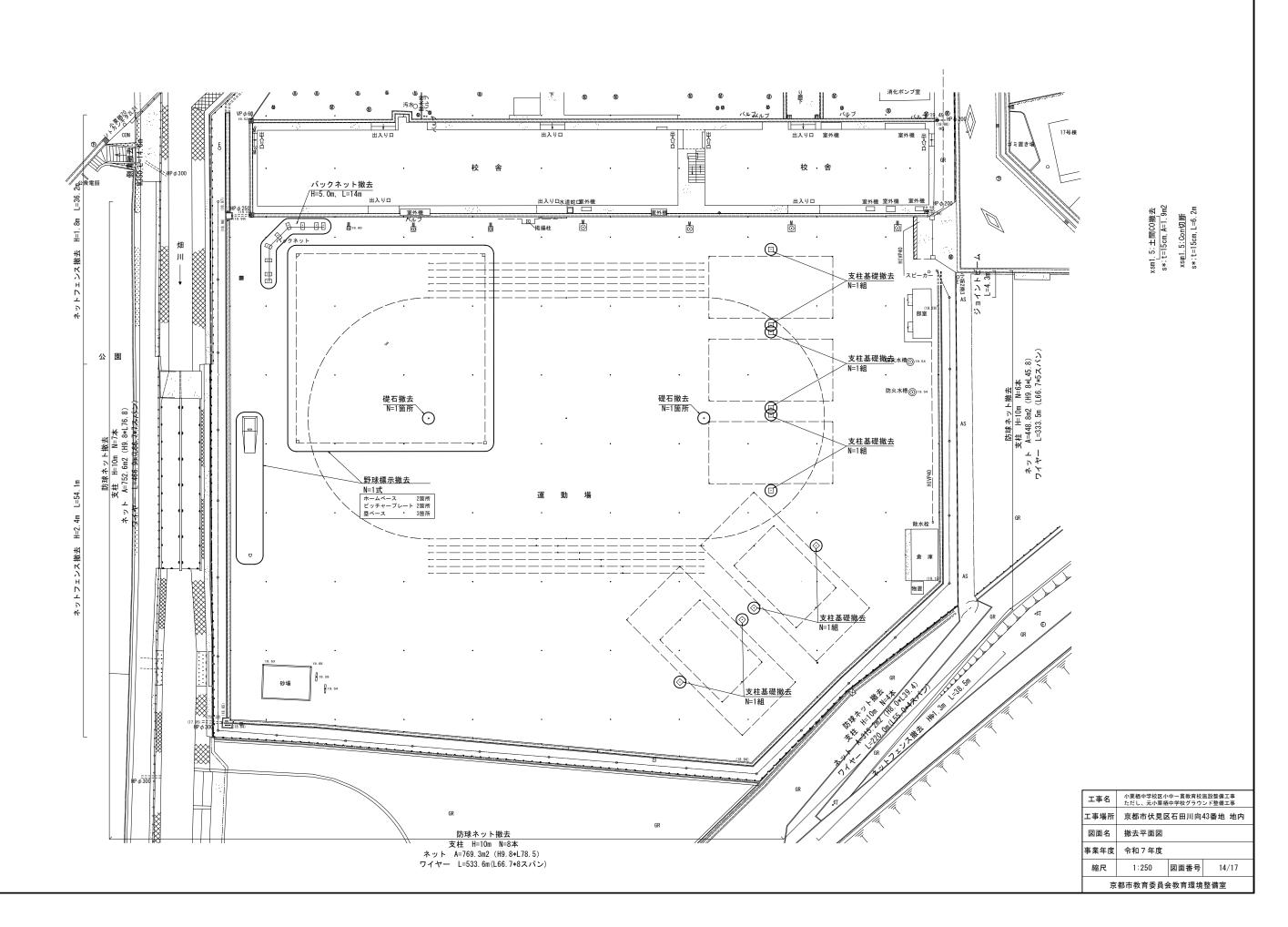
カーテンネット(両開き) 立面図 S=1:50



工事名	小栗栖中学校区小中一貫教育校施設整備工事 ただし、元小栗栖中学校グラウンド整備工事		
工事場所	京都市伏見区石田川向43番地 地内		
図面名	グラウンド・	コート整	備工構造図(6)
事業年度	令和7年度		
縮尺	図示	図面番号	13/17
京都市教育委員会教育環境整備室			

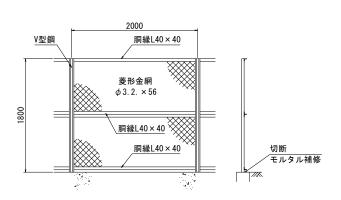
撤去平面図 S=1:250



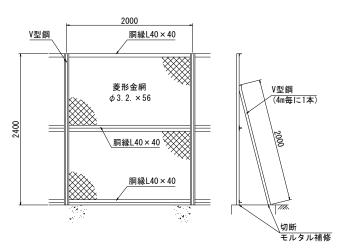


撤去詳細図

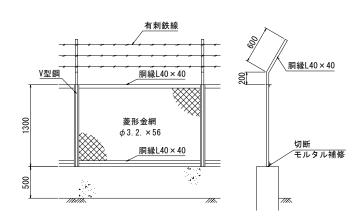
ネットフェンス撤去 S=1:30



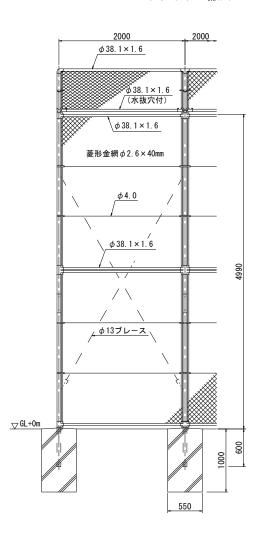
ネットフェンス撤去 S=1:30



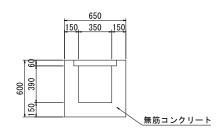
ネットフェンス撤去 S=1:30



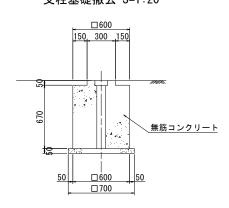
バックネット撤去 S=1:30



側溝撤去 S=1:20

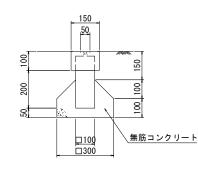


支柱基礎撤去 S=1:20

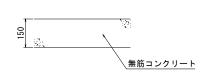


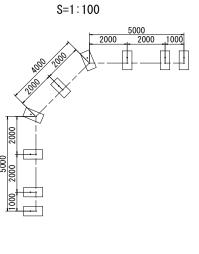
全柱控付 φ60.5×2.3 00gg

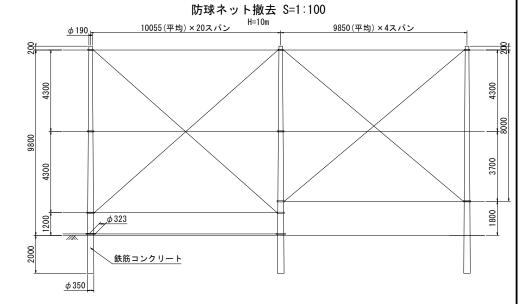
礎石撤去 S=1:10



土間Co撤去 S=1:10







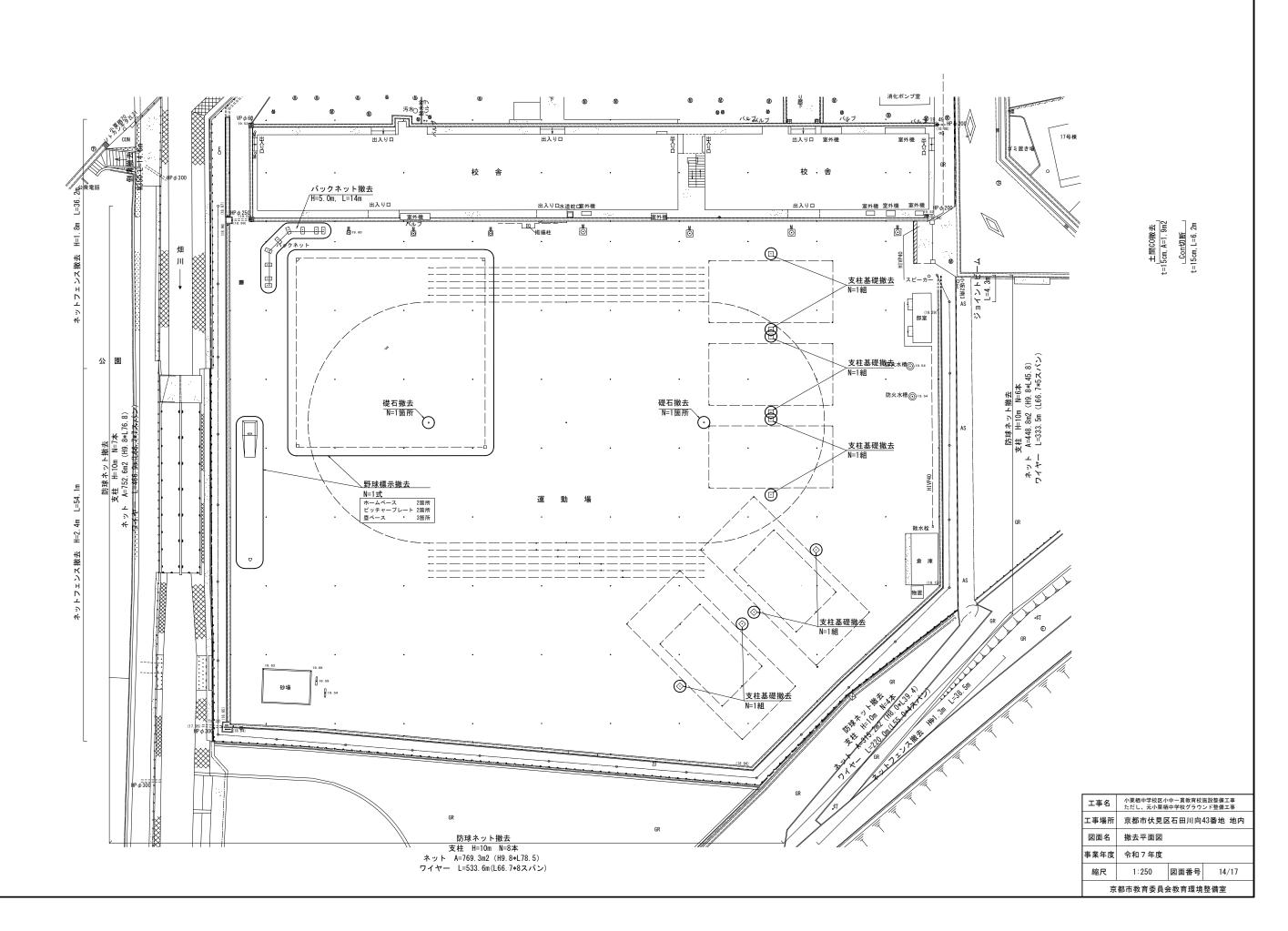
	1	スパン当
ワイヤー	水平(4本)	40. 2m
	ブレス(2本)	26.5m
	計	66.7m

	1スパン当	
ワイヤー	水平(3本)	29.6m
	ブレス(2本)	25. 4m
	計	55 Om

工事名	小栗栖中学校区小中一貫教育校施設整備工事 ただし、元小栗栖中学校グラウンド整備工事			
工事場所	京都市伏見区石田川向43番地 地内			
図面名	撤去詳細図			
事業年度	令和7年度			
縮尺	図示 図面番号 15/17			
京都市教育委員会教育環境整備室				

撤去平面図 S=1:250





土工平面図 S=1:250 FH=19.46 FH=19. 49 ゥ出入りロ A=80.9m2 19. 502 セ (A=70.6m2) <u>出入り口</u> ソ (A=70.6m2) タ (A=70.6m2) チ (A=70.6m2) ッ (A=70.6m2) ナ (A=70.6m2) ス (A=70.6m2) (A=70.6m2) りロ水道蛇口室外機 校舎解体後 造成高19.30 公 園 表土再利用 9cm 表土再利用 9cm 19.63 A=4080m2 19.63. 5大水槽◎19.54 ____44____ A=76. 5m2 表土再利用 4cm 上再利用な A=260m2 A=77. 1m2 散水栓 表土再利用 なし <u>₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩</u> 雜草根 表土再利用4cm 表土再利用なし 67 A=1370m2₈ 凡例 19.56 現況地盤高 19.635 計画地盤高 小栗栖中学校区小中一貫教育校施設整備工事 ただし、元小栗栖中学校グラウンド整備工事 工事名 京都市伏見区石田川向43番地 地内 図面名 土工平面図 事業年度 令和7年度 1:250 図面番号 17/17 京都市教育委員会教育環境整備室